



平成28年度 中央区まちづくり会議  
市電部会活動概要等及び意見集

平成 29 年(2017 年)3月

# 中央区まちづくり会議市電部会

## 目次

1 平成28年度市電部会の概要 .....	2
2 平成28年度活動内容	
(1) 第1回市電部会 .....	2
(2) 現地視察会 .....	3
(3) 第2回市電部会 .....	4
(4) 第3回市電部会 .....	4. 5
3 意見集、その他	
(1) 第1回市電部会からの意見 .....	5. 6
(2) 現地視察会からの意見 .....	6. 7
(3) 第2回市電部会からの意見 .....	7. 8
(4) 第3回市電部会からの意見 .....	8. 9
(5) 貸切イベントについて .....	9. 10
4 平成29年度市電部会の予定 .....	11

## 1 平成 28 年度市電部会の概要

平成 28 年度は、ループ化後の市電や沿線の状況について、情報提供を受けて意見交換を行いました。さらに、市電部会の設立 3 年目ということで、これまでに提出された意見を集約して市電や沿線に関する冊子にまとめる市電BOOKプロジェクトを立ち上げ、今年度中に冊子の印刷データを作成する予定で進めております。また、今年度も学校や関係団体と連携して、現地視察会を実施しました。

## 2 平成 28 年度活動内容

### (1) 第1回市電部会

ア 日時 平成 28 年 7 月 25 日(月)午後 3 時～4 時 30 分

イ 場所 中央保健センター 講堂

ウ 議事内容

- ・ 市電ループ化後の状況について
- ・ 「市電BOOKプロジェクト」について
- ・ 「小学校のまちづくりデザインプロジェクト」について

エ 参加者 (35 名)

- ・ 連合町内会関係者
- ・ 市電の会会長
- ・ 大通まちづくり株式会社統括部長
- ・ 市民まちづくり局路面電車活用担当課長、調整担当課長ほか職員
- ・ 中央区長、市民部長、地域振興課長ほか職員
- ・ 東北まちづくりセンター(以下「まちセン」という。)所長、苗穂、西創成、山鼻、幌西、西、円山、桑園まちセン所長



## (2) 現地視察会

ア 日時 平成 28 年 10 月 9 日(土)午後1時～4時 15 分

イ 場所 ロープウェイシャトルバス乗り場→水道記念館→もいわ山麓駅(ロープウェイ乗車)→山頂で見学→中腹駅レクチャールームで意見交換→もいわ山麓駅解散

### ウ 視察会内容

- ・ ロープウェイシャトルバス乗り場から水道記念館へ  
気温が低く、開始時刻よりも早く集合した参加者が多かったため、予定より早く水道記念館まで散策しました。
- ・ 水道記念館を見学  
浄水設備の仕組みに関する展示や、古い機器などを見学しました。参加者は、美しい映像展示や体験型の展示などを興味深く鑑賞しました。
- ・ 水道記念館～ロープウェイ山麓駅まで散策路を通過  
参加者は、初秋の伏見緑地の景色を楽しみながら散策しました。旧小熊邸や、石森親子歌碑なども周辺を通過しながら見学しました。
- ・ ロープウェイに乗車、山頂等見学  
山麓駅からロープウェイに乗り、中腹駅でもーりすカーに乗り換えて山頂に到着しました。参加者は、山頂展望台からの景色を楽しんだ後、山頂駅内の施設を見学しました。
- ・ 意見交換会  
ロープウェイ中腹駅レクチャールームで、現地視察会全体を通しての意見交換会を行いました。

### エ 参加者 (29 名)

- ・ 連合町内会関係者
- ・ 山鼻中学校教諭(2名)・生徒(6名)、市電BOOKプロジェクトメンバー(2名)
- ・ 中央区市民部長、地域振興課長ほか職員
- ・ 西創成、円山まちセン所長



【水道記念館見学】



【レクチャールームでの意見交換会】

### (3) 第2回市電部会

ア 日時 平成 28 年 11 月 15 日(火)午後3時～4時 30 分

イ 場所 中央保健センター 講堂

ウ 議事内容

- ・ 路面電車沿線の景観まちづくりの取組について
- ・ 市電フェスティバルについて
- ・ 市電部会現地視察会について
- ・ 市電BOOKプロジェクト(SBPJ)について

エ 参加者 (32 名)

- ・ 連合町内会関係者
- ・ 市電の会会長
- ・ 大通まちづくり株式会社統括部長
- ・ 市民まちづくり局都市計画部地域計画課長ほか職員
- ・ 中央区長、市民部長、地域振興課長ほか職員
- ・ 本府・中央、東北、苗穂、山鼻、西、桑園まちセン所長



【景観まちづくりの取組についての説明】



【説明を聞き入る参加者】

### (4) 第3回市電部会

ア 日時 平成 29 年 2 月 15 日(水)午後3時～4時 30 分

イ 場所 中央保健センター 講堂

ウ 議事内容

- ・ 平成 28 年度市電部会の活動内容などについて
- ・ 「市電BOOKプロジェクト(SBPJ)」について
- ・ 市電ループ化開業1年の経過報告について
- ・ 「小学校のまちづくりデザインプロジェクト」について

## エ 参加者（33名）

- ・ 連合町内会関係者
- ・ 市電の会会長
- ・ 大通まちづくり株式会社統括部長
- ・ 市民まちづくり政策局調整担当課長ほか
- ・ 交通局高速電車部電車事業所担当課長
- ・ 中央区長、市民部長、地域振興課長ほか職員
- ・ 本府・中央、苗穂、西創成、曙、山鼻、西、円山、桑園まちセン所長



## 3 意見集、その他

### (1) 第1回市電部会から

「市電ループ化後の状況について」からの意見、質問

- ・ 路面電車のループ化に関するアンケート調査について、魅力があるというのは随分大きなパーセンテージを持っていて、魅力的ではないのが15%あるわけですが、これについて、どのようなことが魅力ではないとなっているのでしょうか。

回答：魅力的ではないというか、どちらかという、今までずっと使われていた方から、ループ化によって乗客の数が非常にふえて、今まで乗っていたのがかなり混んできて時間がちょっとかかるとか、そのような意見がどうしても出てきています。特に多いのは、そういう意見です。

市電BOOK作成にあたり、市電BOOKプロジェクトメンバーから出された意見

- ・ 観光・衣・食・住等分野分け×対象者の年代分けをする。
- ・ 割引券を冊子に添付する。
- ・ スタンプラリー化、景品としてバッジを進呈する。
- ・ 市電以外の公共交通機関が無い地域を重点的に特集する。
- ・ 他の交通機関と料金・速さの比較、市電の優位性アピールする。
- ・ 市民も知らない見どころ(例：三大夜景・藻岩山)を掲載する。

- 冊子の半分程度を写真集にする。
- 昔の写真と現在の街の比較し、撮影地点を探すゲームにする。

「小学校のまちづくりデザインプロジェクトについて」からの意見、質問

- こちらのプロジェクトについては、資生館小学校が先行して実施しているが、二条小学校は、どうなっているのか。

回答: 基本的には、学校側の主体的な動き(学校がやりたいと意向を持ってもらう)がないと、まち会社ではサポートできないので、是非、二条小学校の先生にお声掛けをして頂きたいです。

## (2) 現地視察会からロープウェイレクチャールームでの意見

【山鼻中学校学生】

- 市電の日を決めてお客さんを呼びこむ。
- 市電でスタンプラリーやシールラリーを行う。
- 市電の1台に藻岩山のラッピングを行い、車内広告も藻岩山のものにする。
- 市電内に設置したテレビで藻岩山のCMを放送する。
- 市電・ロープウェイ・水道記念館でツアーやクイズラリー等を行う。
- 夜景サミットを札幌に招致する。市電の車内で藻岩山の土産店や、レストラン、プラネタリウムで使えるお得な券を配布する。

【市電BOOKプロジェクトメンバー】

- 街中を見渡すためには、テレビ塔など街中の展望台よりも、藻岩山のような郊外の展望台がうってつけであると分かった。藻岩山は夜景が人気だが、レストランや土産店、プラネタリウム等施設が充実していることを初めて知り、昼間来てもとても楽しめる施設だと感じた。
- パンフレット等の地図に、施設間の移動方法・時間や、市電で効率的に施設を回れるような案内があると観光客などに喜ばれると思う。また、藻岩山は外国語アナウンスが充実しているが、案内看板にももっと外国語を導入するとよいと思う。

【市電部会メンバー】

- 日本新三大夜景・日本百名月ともにアピール不足で知名度がない。
- 札幌駅地下の電子看板に広告を出し、地下鉄利用者と歩行者へアピールする。

- ・ ポラリスの車内で藻岩山のパンフレットがなくなっていた。補充等徹底する。
- ・ 日本新三大夜景・日本百名月について、特に高齢者に情報を伝える工夫が必要であると思う。
- ・ 市電とロープウェイのセットチケットを販売する。
- ・ 現在のレストランは高級志向で入りにくく感じられるので、子どもでも食べやすく安価なメニューを提供する「軽食コーナー」を拡充することで、利用者増加につながるのではないか。
- ・ ロープウェイ利用者アンケートの結果の開示を求める。
- ・ 街中でロープウェイのチケットを買えるようにする。

### (3) 第2回市電部会から

「市電BOOKプロジェクト(SBPJ)」について、市電BOOKプロジェクトメンバーから出された意見

#### ○ 市電BOOKに載せたいこと・ネタ

- ・ 古い木造建築、地域の古いマンション、軟石や煉瓦の建物、細い建物
- ・ 街の中のアート(絵・像・看板)
- ・ 盆栽作りの大木の松、街路樹、並木などの植物
- ・ 幌南小学校の歩道橋、電車事業所電停の待合所、微妙な距離の縁石と電柱
- ・ 地域の人の暮らしの歴史につながるもの
- ・ レトロな看板、家、石組み、マンションと木造住宅が混在する場所
- ・ 空き地(駐車場)ガーデニング、小さな公園、実のなる木などの植物
- ・ 駅ごとに移り変わる風景、霧がかかった藻岩山
- ・ 自販機(メーカー、金額、種類、場所によって多様、めずらしいもの探し)
- ・ マンション前の噴水に小銭(ミニテレビの泉?)
- ・ 特色のある通り特集、ワクワクする曲がり角
- ・ 朽ちた建物、廃墟、レトロとは違うさびれた感、とり残された感のあるもの
- ・ 古い建物、看板(ロゴ・デザイン)、さびれた商店街跡
- ・ 銅像で巡るヒストリー、銅像さがし
- ・ 市電で巡る雨宿りスポット

## ○ 市電BOOKのコンテンツの切り口・アイデア

- 変な物スポット、小旅行コース
- 街にある銅像や絵がどのように描かれたとか文化人・芸術家について
- 街路樹・並木の季節ごとの写真や街路樹の種類について
- モダンさと伝統、札幌の風土を実感
- 古いもの、取り残されたもの、今と昔の対比・混在、レトロ
- 地域差に着目、地域性に沿った町並み、住人だからこそ見えるもの
- 地面の装飾、生活感の中の遊び心
- 小さな公園、ガーデニングなどの自然と住宅街の共存
- 停留所ごとのシンボルマップ、まちの買い物事情、市電散歩のススメ
- 歩道橋など高い所からの風景
- 四季ごとの街路樹の風景
- 看板さがし(古い、おもしろいもの)、看板に見る札幌の歴史
- 昭和の遺物が残る風景、年月の経過を感じる建物
- タイムスリップ、時間旅行、異空間、現実逃避
- 楽しく雨宿り、雨の日を楽しむ
- 通りの名前、市電と徒歩だから気づく風景、この街に住む理由

## (4) 第3回市電部会から

「市電ループ化開業1年の経過報告について」からの意見、質問

- 乗車の利用率についてですが、ループ化前は、第一位は、西4丁目、第二位は、すすきの、第三位が西15丁目ということでしたが、ループ化により、狸小路が多くなったなど、変わりましたか？

回答:狸小路につきましては、もともと停留所がなく、ゼロからのスタートとなりますので利用率は大幅に上がっております。ただ順位としては、先ほどおっしゃられたように、西4丁目、すすきの、西15丁目という順番に変動はありませんでした。しかし、狸小路停留場ができましたので、西4丁目と狸小路とすすきのについては、以前に比べると利用者は、相当増えている状況が見てとれますとの回答がありました。

- ループ化開業1年の経過報告の資料では、利用者が2,000人増加したとありますが、ループ化後の1日当たりの車両数が分かればお聞きしたい。

回答:ループ化前は30両でしたが、ポラリス3両が導入されたので、今保有しているのは33両です。日中に運行している車両数は、平日で15両から16両です。冬場は、16両で、朝ラッシュの時間帯には28両から29両を運行しております。朝ラッシュの時間帯は非常に混雑しており、皆さんにご迷惑を

お掛けしているのですけれども、最大限の車両数で運行している状況です。

## (5) 貸切電車イベントについて

「まちづくり戦略ビジョンアクションプラン 2015」の計画事業として選ばれ、平成27年度から事業を開始しております。28年度は4回の貸切電車イベントを行う予定ですが、既に第1回として「貸切電車 DE 子育てサロン」を実施しており、今年2月と3月で残り3回を実施します。

### 第1回貸切電車イベント「貸切電車DE子育てサロン」について

#### ○ 実施目的

市電がループ化されたことを契機に、市電に乗ることが多くないと思われる幼児やその保護者に市電に乗ってもらい、市電への愛着や理解を深めてもらうこと、また、中央区が実施するまちづくりや子育て支援の取組に興味を持ってもらうきっかけにすることとしました。

#### ○ 実施日時・参加者

平成28年9月1日(木)に1歳6カ月以上3歳以下の子どもと、その保護者15組が参加しました。

#### ○ イベント内容

- (1) すすきの停留場から貸切市電に乗車し、途中、電車事業所でトイレタイムをとり、1周(約1時間30分)してすすきの停留場で下車しました。
- (2) 貸切電車の床に靴を脱いで遊べるスペースを設置し、子どもたちは、おもちゃで自由に遊んだり、車窓から景色を眺めたりしました。
- (3) 保健師、栄養士、保育士の職員が同乗し、保護者は、子育ての悩みなどを相談しました。
- (4) 電車事業所内でポラリスの内部やササラ電車等を見学し、電車事業所の職員から説明を受けました。

#### ○ 貸切電車イベントを終えて

参加者へのアンケート調査の結果、色々な電車を見ることができた、子どもを十分に遊ばせられたなどの意見を多くいただき、好評でした。



【車内の様子 1】



【車内の様子 2】



【電車事業所で見学】

## 第2回貸切電車イベント 『市電画家とめぐる「絵になる」風景』について

### ○ 実施日時・参加者

平成29年2月24日(金)13時15分～15時

中学生以上で鈴木周作さんのファン24名が参加しました。

### ○ イベント内容

(1)すすきの停留場から貸切市電に乗車し、途中、電車事業所でトイレタイムをとり、1周(約1時間30分)してすすきの停留場で下車しました。

(2)市電と街の風景をテーマに創作を続けているイラストレーター鈴木周作さんに、これまで描いてきた水彩色鉛筆画とともに「路面電車のある街の風景」の魅力を紹介していただきました。

(3)車両内には、鈴木周作さんの作品を装飾し皆様に鑑賞していただきました。

(4)電車事業所内でササラ電車等を見学し、電車事業所の職員から説明を受けました。

### ○ 貸切電車イベントを終えて

参加者へのアンケート調査の結果、鈴木先生の講演を聞くことで、市電の魅力が再発見でき、とても有意義な時間を過ごせたなどの意見を多くいただき、好評でした。



【車内の様子1】



【車内の様子2】



【電車事業所で見学】

## 今後の貸切電車イベントについて

### ○ 第3回貸切電車イベント「市電でライブ」

・ 鉄道を愛する歌手・高橋涼子さんのライブを行います。歌の披露と、札幌への思い等を語っていただきます。

・ 日時：3月11日(土)13時15分～15時

### ○ 第4回貸切電車イベント「ブラサトルの市電ぐるり旅」

・ 電車と古地図をこよなく愛する、まち歩き研究家の和田哲さんに、札幌市電や沿線の今・昔についてお話しをしていただきます。

・ 日時：3月18日(土)13時15分～15時

※ いずれも広報さっぽろやホームページ等でPRし、一般市民(24名程度)を公募いたします。

## 4 平成 29 年度市電部会の予定

平成 28 年度は、市電BOOKプロジェクトを立ち上げて、部会でいただいた意見を参考にした、市電の冊子の印刷データを製作する作業を進めて参りました。

平成 29 年度については、完成したデータを印刷し、発行、更新などをする予定です。この冊子を活用していくことで、さらなる市電と沿線の活性化を推進していきます。